



もてなしの心で語る わが街

えな自慢

えな自慢
えな史 57

八王子神社

明知遠山氏ゆかりの神社



▲県の重要文化財にも指定されている社殿

ひと口メモ

神社境内には「光秀公手植えの楓^{かえで}」や、光秀公建立と伝えられている桔梗紋^{ききょうもん}を彫りつけた「柿本人麻呂神社」、また神社隣の龍護寺には「光秀公の供養塔」など、明智光秀ゆかりの地として多くの伝説を残している。

明智町にある神社で、牛頭天王^{ごずてんのう}の8人の王子が祭られたということがその名の由来。社伝によれば949(天暦3)年から、明知、串原、高波、浅谷^{あさかい}などの諸村を領していたが、1574(天正2)年、武田勝頼^{かつより}の軍勢により明知城とともに焼失。現在の社殿は、1676(延宝4)年、旗本明知遠山氏によって造営されたもので、本殿、幣殿、拜殿^{はいでん}を連結したいわゆる権現造^{ごんげん}。社殿や絵馬は県の重要文化財に指定されている。



▲毎年行われる八王子神社の大祭では、明智太鼓を奉納

また10月9日(日)に開催される大祭には、市の無形民俗文化財の明智太鼓が奉納される。

えな自慢
えな祭 58

下手向の獅子芝居

歌舞伎を演ずる獅子舞



▲県重要無形民俗文化財の獅子芝居(「箱根山」)

ひと口メモ

獅子舞保存会は1987(昭和62)年に発足し、ことし24年目を迎え、約50人で活動をしている。2001(平成13)年には、ニューヨークのカーネギーホール、2010(平成22)年には東京の国立劇場で獅子芝居を披露した。

山岡町^{しもとうげ}下手向^{しらやまひ}の白山比咩神社の祭礼に演じられる奉納芸。祭礼では獅子舞による悪魔祓^{ばら}いを演じ、社殿の前では、おかめに神主がからむユーモラスな芸を奉納。夜には芝居小屋で悪魔祓、獅子芝居などが演じられる。現在の奉納獅子舞は、1702(元禄15)年、信州小諸藩主松平乗紀^{のりただ}が岩村藩への国替えを切っ掛けに導入された嫁獅子によるものとされる。その後、いつしか余興として歌舞伎狂言のさわりの場面を獅子が演ずるものとなった。獅子芝居は神に捧げる「奉納芸」。県の重要無形民俗文化財に指定されている。

ことしの祭礼は、10月9日(日)、10日(月)に開催される。



▲五穀豊穡、無病息災などを願って地域内で悪魔祓いを披露する

次号は10月15日号
発行日は10月14日(金)です

広報えな No.160
2011年(平成23年)
10月1日発行

発行 恵那市役所/編集 企画課広報広聴係
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1 ☎(0573)26-2111/☎25-6150
<http://www.city.ena.g.jp/> ☒info@city.ena.g.jp

『広報えな』10月1日号、1部当たりの印刷経費は約11.1円(税込)です。



◀市安心安全メール配信システム
(登録用QRコード)
市WEB版文字放送システム
(閲覧用QRコード)

☎問い合わせ 防災情報課(内線317)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。
この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。

